
ディプロマポリシー（DP）専門士授与の方針

全学科共通ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校を卒業する人材は、学則にある「工業分野における産業の発展に対応する情報処理、商業実務分野における実務教育と専門知識、教育・社会福祉分野における社会性と豊かな人間性、文化・教養分野における芸術性の素養と創造的スキル並びに各分野に関連する専門技術についての教育を行い、有能な職業人、社会人の育成を通して、産業の振興と地域社会の発展に寄与する」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

本校では、産業界の将来的な人材ニーズを常に捉え、次に掲げる職業人として必要な能力を「ミライスキル」と定め、それらを育て、それら能力を有する者に対して卒業を認定する。

① **よりよい未来を想像し、実現するための知識や技術を有する人材**

産業界で求められる、人材像に向けて職業実践的な専門知識と技能。

※各学科において、具体的に求められる職業実践的な能力を定める。

② **互いの知識や技術を合わせて、未来のために解決していく力を有する人材**

多様な人々とともに、目標に向けて協働する力。

※「社会人基礎力」の「チームで働く力（チームワーク）」に該当する能力。

③ **未来に希望を持って、あきらめずに取り組む意欲を有する人材**

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く考え抜き、取り組む力。

※「社会人基礎力」の「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」に該当する能力。

本科は専門士の認定を受けている。卒業する学生は教育課程表において必須となる科目全ての成績において不可を認めていない。進級においても同様である。また、学納金に未納がないこと、学年における総欠課時限数が当該学年における年間消化時限数の15%以内であることも卒業・進級の認定基準とする。

本校のディプロマポリシーの基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

グラフィックデザイン科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

本質を見定め、グラフィックデザインを問題解決のための手法の一つとして用いることができ、自身のイメージを具現化する表現技術を身につけている。

【思考・判断・表現】

従来の印刷物の枠にとらわれず、コンピュータ上で表現される、インタラクティブデザイン、ウェブデザインなどの「デザイン」を必要とする様々な場において、柔軟で的確な理解力、新鮮な発想力、多様な切り口と表現力、そして確かな技術と豊富な知識に裏付けされたアウトプットができる。

【関心・意欲・態度】

日々進化してゆく社会において、新しい知見や技術を貪欲に取り込み、積極的に表現へ還元させることができる。また、基本的な社会人としての自覚・姿勢を身に付け、相応の立ち振る舞いや周囲の人々と良好に協同することができる。

デジタルコンテンツ科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

課題解決のためのデジタル表現を中心とした表現技能と、業界標準の知識を身につけており、要望に応えるための自身のイメージを追求し、的確にアウトプットすることができる。

【思考・判断・表現】

クライアントの要望を柔軟かつ的確に理解し、または与えられた状況から課題を見つけ出して、ビジネス的視点と創造的なとらえ方で考察し、知識や技術を総合してかたちづくり提案することが出来る。

【関心・意欲・態度】

常に進化する業界動向や技術トレンドに高い情報感度を持ち、率先して吸収し糧とする。専門分野を担う気概に満ちた職業人としての自覚を持ち、周囲と調和した行動をとることができる。

CAD デザイン科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

様々な分野のものづくりにおいて求められるデザイン・ものづくり知識・製図知識・モデリング技術・作図技術を有し、設計の流れを理解したうえ、後工程で修正可能なモデル作成ができる。

【思考・判断・表現】

周囲の環境、進捗具合や社会的責任等を総合的に判断して問題を発見し、解決案を提案しながら解決に導くことが出来る。

【関心・意欲・態度】

身の回りにあるものへ関心を示し、演習やグループ作業にも意欲的に取り組むことが出来る。学業や課外活動においても

自らをキャリアアップさせることができる。

メイク・ブライダル科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

多様化するお客様のニーズに応えられるよう、ヘア・メイク・ネイル・ブライダルの専門知識技術を身につける。語学やプレゼンテーションなど、プロフェッショナルとしての高い専門性とマルチに対応できる柔軟性や人間力を磨いていく。技術習得がゴールではなく、応用活用・発信できるまでを目標とする。

【思考・判断・表現】

美容従事者にふさわしい、所作やマナーが身についている。お客様視点や顧客満足意識を身につけ、プロとしての提案が出来る。現場を作業をイメージし、時間内で完成させる感覚や、流動する現場で不要、必要のジャッジや優先順位が判断できる。

【関心・意欲・態度】

ルールを守りながらも、自分で考え判断行動できる積極性を身に付けようとしている。次世代美容への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。技術へのブラッシュアップを行いアップデートし続ける事が出来る。

AI×コンピュータ科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

<<プログラム選択>>

【知識・技能】

IoTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、プログラム開発・基本的なシステム開発の技術、AI技術の基本的な知識と技術、ネットワーク、セキュリティ、データベースなどについての深い知識を活用することができる。

【思考・判断・表現】

周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、組織に合わせた情報システム戦略が立案及び論理思考力を駆使して解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

次世代情報技術への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

<<ITビジネス選択>>

【知識・技能】

I T 化が進むオフィスワークを想定し、情報システム、財務、法務、経営戦略等の幅広い知識の習得をし、さらにA I やネットワークなどのI T 活用スキルを身につけていきます。

【思考・判断・表現】

I C T プロフィエンシー検定試験などI T 系、ビジネス系資格に挑戦することで総合的なビジネススキルを磨き、現場での課題解決力を高めます。Ipad等を利用したデモンストレーション、模擬実践を行い、企業活動を総合的に理解する力を身に付けます。

【関心・意欲・態度】

コミュニケーション能力の育成を目指してグループワーク、アクティブラーニングを取り入れ、プレゼンテーションにも強い人材を目指します。また、企業との連携授業によって身に付ける社会人基礎力の向上を図り、ICTを駆使して活躍する「ミライスキル」を身に付けます。

セキュリティネットワーク科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

サイバー空間とフィジカル空間が融合する高度情報社会の実現のための基盤となる、ITインフラの構築・運用技術、サイバーセキュリティ、リスクマネジメントなどについての深い知識を活用することができる。

【思考・判断・表現】

急速に発展する高度情報社会を取り巻く環境やコンピュータ技術、情報倫理や社会的責任等を総合的に判断して、社会が抱える問題を提起し、論理思考力を駆使して解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

社会が抱える様々な問題を解決するために必要となる、次世代の情報技術への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

ゲームクリエイト科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

IT（情報技術）の知識、技術を基礎として、ゲーム制作の多様なワークフローを理解し、ゲーム開発に適したプログラミング技術を身に付け、時代に適応したゲーム開発ができる。

【思考・判断・表現】

ゲーム開発の現場で活躍できることを目標に、論理的な思考力を有し、スケジュールや人員など開発の状況を俯瞰的に判断ができる。併せて、円滑なコミュニケーションで、共に開発に携わる周囲の人々と協働できる。

【関心・意欲・態度】

ゲーム開発やIT技術のトレンドが日々変化する中で、それに対応した知識や技術の習得を積極的に行い、自ら常に研鑽する姿勢を有する。併せてゲーム以外の事象に対しても興味を持ち、幅広い知識を基礎に、ゲーム制作、あるいはそれ以外の社会問題の解決に、自分の技術を活かそうする姿勢を有する。

未来こども科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

幼稚園教諭及び保育士として必要な、幼児教育・保育に関する専門知識や技術、能力を身に付けている。

短期大学卒業認定科目、幼稚園教諭免許、保育士資格に関わる科目の単位を修得している。

【思考・判断・表現】

未来を担う子どもたちに関わる保育者として、社会人としての基礎的な能力、豊かな感性や想像力、人間性を備えている。常に子どもの最善の利益を第一に考えて行動できる。

【関心・意欲・態度】

自分が目指す保育者像を明確にもち、制度やニーズが変化していく中でも、常に自分の目標をもつことができる。

医療事務科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

医療機関において、事務という立場から医療機関を支えていくための保険請求などの深い知識と IT 化が進む医療現場で必要な IT 知識を併せ活用することができる。

【思考・判断・表現】

医療スタッフとして、患者様をチームで支える思いやりの心、また医療チームの一人として患者様に向き合う意識をもって仕事に取り組み、多様な問題解決に導く事ができる。

【関心・意欲・態度】

地域には欠かす事の出来ない医療機関において、事務という立場から医療機関を支える強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

国際 IT・CAD 科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

様々な分野のものづくりにおいて求められる、ものづくり知識の習得により、設計図を作成するうえで必要な製図知識と、CADを駆使して正確かつスピーディーに作図する技術、機械制御による自動化についての知識を有し、活用することができる。

【思考・判断・表現】

アルゴリズムを論理的思考力により最適化し、適切な装置を用いて、自動制御における問題を解決することができる。一方、CADを駆使して見やすく、制作の意図が伝わる製図を描くことができるとともに、図面から作業指示を紐解いて理解することができる。

【関心・意欲・態度】

ものづくりへの強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学習したことを応用して、習得した技術のレベルアップにつなげる努力ができる。

国際観光・ビジネス科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

観光、教育業界の知識を軸に、高い日本語力とコミュニケーション能力を活用して、高度なサービスを提供することができる。

【思考・判断・表現】

自分に求められていることをとらえ、状況を判断して、相手の立場に立った振る舞いを行うことができる。自ら考え、自らの力で解決することができる。

【関心・意欲・態度】

観光、宿泊業界への関心を軸に、自国と日本、そして世界との関わりに興味を持ち、グローバルな視野を持って、積極的に関わる事ができる。

国際介護福祉科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

国家試験介護福祉士の合格基準に達する介護の専門知識が習得できる。介護現場で利用者に安全、安心な介護・医療的ケアが提供できる。

【思考・判断・表現】

地域社会、介護現場の環境、利用者の状況に応じて、利用者の尊厳や権利を擁護することができる。介護福祉士としての倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、他者への配慮と客観的な論理思考力を用いて解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

介護の職務への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らがキャリアアップすることができる。